

平成 31 年 1 月 17 日

CPF における保管溶液の処理実績及び今後の計画

日本原子力研究開発機構
核燃料サイクル工学研究所
環境技術開発センター

- CPF では平成 27 年 7 月より、セル・グローブボックス内に長期保管されている放射性溶液について、管理方法の適正化を図るべく、処理を進めている。
- 処理対象の放射性溶液は当初 344 本あり、平成 30 年 12 月までに 153 本の処理が完了している。
- 残りの 191 本は、平成 31 年度から平成 32 年度までに処理を完了する予定である。
- なお、核燃料物質を含む溶液に限定すると、初期量は 174 本、平成 30 年 12 月までに 69 本の処理が完了し、残り 105 本となっている。
- この 105 本についての核物質回収及び安定化処理(脱硝等)は、平成 31 年度末までに完了できる見込みである(ただし、残液の処理は平成 32 年度まで継続予定)。

以上

保管溶液処理計画フロー図

